



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受講して、原爆ではいろいろな人が犠牲になったことを改めて知りました。原爆の被害を受けた人たちは、まだ苦しんでいたか、たと思いましたが、両つてを前にして、ひふがただれている人をそうぞうするだけで、その被害はすごく大きいものだったと分かりました。原爆の死亡率は40%と書いて、とてもなと大きくて、いんがのあるものだったということが分かりました。5人に2人が死してしまふことが広島で起きていたことを初めて知り、改めて、原爆を落すだけで、いろいろな人たちが犠牲になり、広島の人たちの笑顔を、いっしょにしていなくなってしまうものだと分かりました。傷をおってしまった人はもちろん、傷を負わなかった人も、家族や友達をなくしてしまふし、傷を負った人が、広島の町中に歩いてたすけを求めている姿を見ると、あんなに辛い気持ちになるし、トラウマになってしまうので、広島の人全員にとって、大変な出来事だったということが分かりました。



名前は裏面に記入してください

10/22

原爆先生の話を知って原子爆弾は非常に危険だなと改めて思いました。なぜなら、大勢の人が亡くなってしまったり、悲しい光景を目のあたりにしたりして、人が現在でもいるからです。原爆をなくすためには主に三つあると考えました。

第一目は、戦争をなくすということです。戦争をなくすと平和な世の中で暮らせる。原爆を使わずに生きていける世の中になると思ったからです。

二つ目は戦争があっても、原爆または(核兵器)を使わないということです。原爆(核兵器)を使用するとやられた国もやられた国も利益がないと思ったからです。

最後に三つ目は、原爆は絶対にやらない。いけないう類の過ちを後世に伝えることです。後世に伝えることにより何十年、何百年と伝えられていくことだし、戦争原爆という意識が



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆が日本に悲しいな結果をもたらしたことは  
していましたが想像もできないほどのおそろし  
かったことを知りました。7000℃の少年と言  
葉は広島に投下された原爆「トルボーイ」  
のことだと思えます。たった一発で14万人  
の人が亡くなり被爆した人を今も苦しめ  
続けていることを知りました。原爆の候  
補になた京都は文化財があり日本人の感情  
を考へたという話がありました。その話を聞  
いた時に私は日本人の感情を考へるなら  
原爆を落とさないという選択をしてもよか  
たのに...と思いました。私は原爆ドームや  
原爆資料館に行ったことがあります。原爆ド  
ームでは建物が焼かれて外観だけが残ること  
におどろきをかくせませんでした。資料館は見た  
くもなしほどおそろしかったです。今ウクライナや  
アガザ地区などの戦闘で原爆が使われる可能性  
があると語られています。被爆者の死が無たに  
ならず平和な世界になしてほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

前までは、原爆は広島と長崎に落とされた爆弾とだけ思っていたが、原爆先生の授業を受け、原爆は爆発すると、中心部は100万度、地面も3000度という高い温度で、人間は体中の水分が蒸発してしまうことがわかった。主人公の義三さんの「元安川は水が干涸び、たくさんの人の死体があった」ということや、原爆の前は立派だった産業奨励館が、あんなにこわされてしまうことから、原爆の力がよくわかったし、義三さんが体験した、広島でのことを考えると、広島という、当時人口35万人の大きな街が、たった3m、4mの原爆一つでこんなにもかきめつめつなひがいを受けるのはとてもこわいと思った。自分たちが住んでいる東郷郡に原爆が落とされたら、自分や友達、家族も広島の人爆者のように、ひながたたり、落とされたしゅん間に炭化して、消えてしまうと思う。そういう人が、広島と長崎だけになるように、原爆の恐ろしさを責任をもて未来へ伝え、二度とこんなことが起きないようにしていきたい。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾のことは知っていたけれど、表面温度が太陽よりも熱く、衝撃波の速さが音速よりも速いことは初めて知ったし、とてもおどろきました。原爆が落ちた時、外にいた人たちは一瞬で消え、建物はほとんどがふっ飛ばされてしまったことがわかりました。

原爆の被害にあった人は全身焼けこげ、兵隊さんが助けようと手を引くと、ばると皮ふがはがれてしまうなどとてもつらい様子が伝わってきました。たまたまで広島にいる14万人もの尊い命がうばう原爆が憎く感じました。また、広島の前爆だけでなく太平洋戦争などで何の悪いこともしていない人たちが亡くなってしまい、悲しくなりました。だから、原爆や戦争のことをもっと調べて知ったり、後世に伝えたりしてもう二度と原爆を落とさないような世界をつくらせていきたいです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受講して、原し爆だんのこと  
 前から聞いたことがあるだけで、あまり知らなかったけど、原し爆  
 だんがどれたけいさんで、たくさんの方がきせいになっていることを  
 知りました。広島県に原し爆だんが落とされ、たくさん  
 の人がきせいになって、人口の約4割の人は死亡してしまっ  
 たということを知り、原し爆だんはすこおそろしいと思いました。  
 理由は、人口がたかさんいたのに、原し爆だんによって、  
 いっしょに死んでしまった人がたくさんいたからです。また、  
 生きていても、顔がやけどで真赤になっていたり、体の皮が  
 剥がれていたりする人がたくさんいて、人間とは思えない  
 姿をしていたと知ったからです。当時に原爆を實際  
 体験した義三さんはすこいと思いました。なぜなら、原し爆だん  
 で死んだ人たちのやがな持ち手になりながらも運んだり、  
 けがをした人を一生けん命手当てしてあげたりしていたからです。  
 また、義三さんたちのような、やがなとだたりを文句を言わな  
 いで、他人のことを優先したりする気持ちと見習  
 おうと思いました。改めて、原爆はおそろしく、  
 たかさんの命をさらったということがわかりました。二あ先、  
 昔のような原爆がまた行なわれる世の中になってほしくないです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を通じて私は、原子爆弾の恐ろしさと怖さを知りました。私は特に、原爆の表面の温度が7000℃といふ物を聞き最初にはよく分からなかったのですが太陽の表面温度が6000℃と聞きその温さにして驚きました。

もし上空600Mで太陽以上の表面温度の原爆が落ちたら考えるととても恐ろしいです。

その他に原爆の衝撃波の速さが毎秒400Mと聞き音速より約4倍速いといふ事を知りまた驚きました。

この原爆の影響で広島市の人口の約40%の方々が亡くなっている事を知りこの一発でこれだけ人の命が失われるのかと考えるととても悲しくなりました。

今日の授業を通して原爆での影響なども知れました。何回も原爆の恐ろしさに驚かされたが何より、14万もの命を奪った「原子爆弾」といふ物を決して忘れては行けないと感じました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

いまで、原爆のことはあまり気にすることもなく、きょうみも  
 なかった私<sup>おぼ</sup>ですが、今回原爆先生の受講をし  
 て、もう一に興味が増えました。興味が増えることは  
 いいことだと私は思います。また、そのきっかけをつくってくれた  
 のは原爆先生のおかげだと思います。ありがとうございました。<sup>おぼ</sup>

私は、こんかの授業では、原爆のお話と、人々の  
 その時の気持ちについて、しることができました。

原爆は、音や映像などで知ることができました。<sup>おぼ</sup>

私はこわくて、耳をふさぐほどさいけんされていたから。<sup>おぼ</sup>

また、表面温度が7000と太陽の表面温度より熱いこと  
 におどろきをおかせませんでした。<sup>おぼ</sup>

また、人々は体の皮ふかどけるほど熱いし、水もないの  
 に生きていただけです。こいなと思えました。<sup>おぼ</sup>

家に帰ってママに話すこともおどろいていました。<sup>おぼ</sup>

私がその時代に生きていたらどうだったんだろうと

今思います。また、昔の人たちのことを思い、自分は、

命を大切にすることをこれからも生きるために、

大切にしようと思えます。<sup>おぼ</sup>



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

私はまず、授業を聞いたとき、原爆として戦争は怖いなと思いました。その理由をいくつか書きます。まず一つめに、人の皮が焼けてとれたり死汁が出たりしている人がいることを知ったからです。自分が被爆したんだ。たらと考えるとおそろしいです。二つめに、原爆について知れたからです。飛行機から落とされた直後3mほどしかなか、た原爆が3、4れみか、て広島1帯をのみこんだなんてはじめは信じられませんでした。また、衝撃波の強さや原爆雲ができるまでを聞いて人が飛ばされる風はどのくらい強いだろうと考えました。三つめに、一番おどろいたことで、階段に人の影がのこった写真です。その写真は原爆がおとされる直前で人がいたということがわかり、その人が熱風や衝撃波で飛ばされなくなった。ためにも影だけがのこる写真が不気味に思えました。この授業を通じて改めて原爆の怖さを痛感しました。亡くなった人々が天国で幸せに暮らしていることを祈ります。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して、戦争や原子爆弾のおそろしさや、悲しさを知ることができました。前にも少し、戦争や原爆の話は授業などでもしいたことがありましたが、その話より、はるかにおそろしく、生々しいものでした。私が特にきおくにのこっているのは、トラックに人をのせようとした時に、のせようとした人のうでや手のひらが、ズルッとおけてしまい、助けようとしたのに、逆に苦しませてしまうという事です。なぜなら、助けようとしたのに、逆に傷つけてしまうというのがとても悲しく感じたからです。さらに、義三さんたちは、人間とは思えないような見た目の人たちを、トラックにのせようとしたのが、えらいと思いました。私たちが「気もわかるい」とかいて、絶対にのせようとしなれないと思います。義三さんたちのような、やさしく、広い心を持っていたいと思いました。私かもう一つ心に残ったのは、原爆の表面温度が太陽をこえる、7000℃もあるということでした。太陽よりあつか、どうしてみんな死ぬだろうと思いました。これらのことをふまえて、戦争や原爆は、もう二度とあてはならないと思いました。そのために、私たちがおこなうことができることをみつけて、取り組みたいと思いました。

